

事務所に詰後、當トシテ工場内ニ在ル製造乃、生地ノ賣価約九百八十
円ヲ控除、一千円ヲ想ホシ代表平岡武彦ヨリ景氣明示セリ一
千二百四十九百五十四円ヲ會計上セルエナトリマト、質問
ニ對シテ工場主ヨリ然リ當然ニ相殺スヘキ性質ヲ有スレモノ
ナクト、該明ナルニ代表一同ハ最早折衝ノ余地ナシト嘆息トシ
テ異場セントレタルカ調停官、斡旋ニヨリ一旦休憩ニ入り其
ノ間代表三名ハ工場ニ引及レ往來實一同ニ報告再ニ會見ニ移
リ代表ヨリ凡テラ合セニ一千五百円、讓歩拿ヲ提出シタルニ
工場主ハ即答ア避ケ又々休憩ニ入り午後五時再會工場主ヨリ
一躍ニ千円ヲ想寄シタルニ代表ハ快クヨレシ承認シ金一封同
額ハ此處ニ因満解決ラ見ヒニ至リクレカ當日來ヨリ想寄セリ
者拂工賃支拂確定日ニ廻シ審議シ結局調停後五日以内ニ支拂
日ヲ發表スレコト、シニ、眞向アリテ更ニ工賃ニ割植下拿
フ工場主ヨリ趣先レ代表側ハ追討ニ應ニ難シト合同額ノ撤回

ヲ要望セルニ工場主ヘヨレニ應セス種々論議ヲ交シ決定ヲ見
ス次圓、會見ヲ約シテ午後二時會見打切りタリ
三、其後、交渉ハ事業主側ノ都合ニ依リ二二日休憩レ明十二月八
日午後一時ヨリ引續キ者慶調停謁、於テ開催スルニト、ナリ
居セリ

右及申(通)報候也